



# 栄養管理実施加算に関する調査結果報告

(社) 全国自治体病院協議会 診療報酬対策委員会

委員 (栄養部門代表) 野田 志摩子

(東京都立松沢病院 栄養科長)

委員長代行 宮川 信

委員長 佐藤 裕俊

## はじめに

全国自治体病院協議会「診療報酬対策委員会」では、平成18年度診療報酬改定において入院基本料に新設された栄養管理実施加算の会員病院における平成18年8月1日時点での算定状況を調査したので結果を報告する。

### 1. 回答病院数及び回答率

回答病院数及び回答率を病床規模別に分けた結果は【表1】のとおりである。全体として50.1%の回答率であった。

### 2. 栄養管理実施加算の算定状況

4月から6月の栄養管理実施加算を算定した施設の割合は【表2】【グラフ1】のとおりである。月

毎に着実に算定施設割合は増加し、総数平均は6月時点で74.2%となっており、特に400~499床の施設では94.7%と高率で算定している。

### 3. 栄養管理実施加算算定患者数が全体に占める割合

4月から6月の栄養管理実施加算を算定した患者数の割合は【表3】【グラフ2】のとおりである。月毎に着実に算定患者数割合は増加し、総数平均は6月時点で65%となっている。99床以下と500床以上の施設が60%以下と算定割合が少なく、100床~199床、200床~299床の施設が70%を超える算定割合となっている。

### 4. 施設全体の管理栄養士数

病床規模別の管理栄養士数は

【表4】のとおりである。おおよそ100病床につき一人の管理栄養士が配置されている。

### 5. 栄養管理計画書作成に関わっている職種

栄養管理計画書作成に関わっている職種を病床規模別に分けた結果については【表5】のとおりである。500床以上の施設の薬剤師を除いて病床規模が大きくなるほど関わる職種の人数が多くなっている。【表3】の算定患者数割合と併せて見てみると管理栄養士一人当たりおおよそ100人弱の患者の栄養管理計画に関わっていることになる。今後も算定患者割合は増加することが見込まれることと、再評価を要する患者数を合わせると管理栄養士一人当たりが関わる患者数は100人以上となる。

【表5】以外の職種としては臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、事務職員等が上げられた。栄養管理実施加算が「管理栄養士をはじめとして医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者が共同して栄養管理を行うこと」となっているが、実際に多職種が共同して行われていることが伺えた。

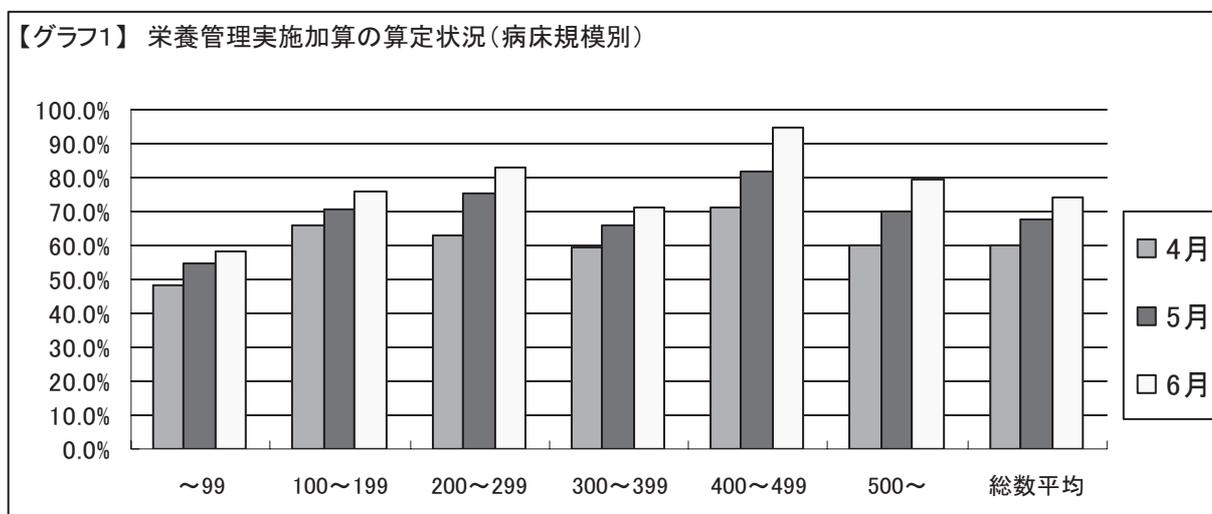
【表1】 回答率

病床規模	依頼数	回答数	回答率
20~99	289	112	38.8%
100~199	242	109	45.0%
200~299	133	81	60.9%
300~399	149	91	61.1%
400~499	77	38	49.4%
500~	115	73	63.5%
合計	1,005	504	50.1%

【表2】 栄養管理実施加算の算定状況(病床規模別)

一般病床規模	栄養管理実施加算を算定した施設の割合		
	4月	5月	6月
～99	48.2%	54.5%	58.0%
100～199	66.1%	70.6%	76.1%
200～299	63.0%	75.3%	82.7%
300～399	59.3%	65.9%	71.4%
400～499	71.1%	81.6%	94.7%
500～	60.3%	69.9%	79.5%
総数平均	59.9%	67.7%	74.2%

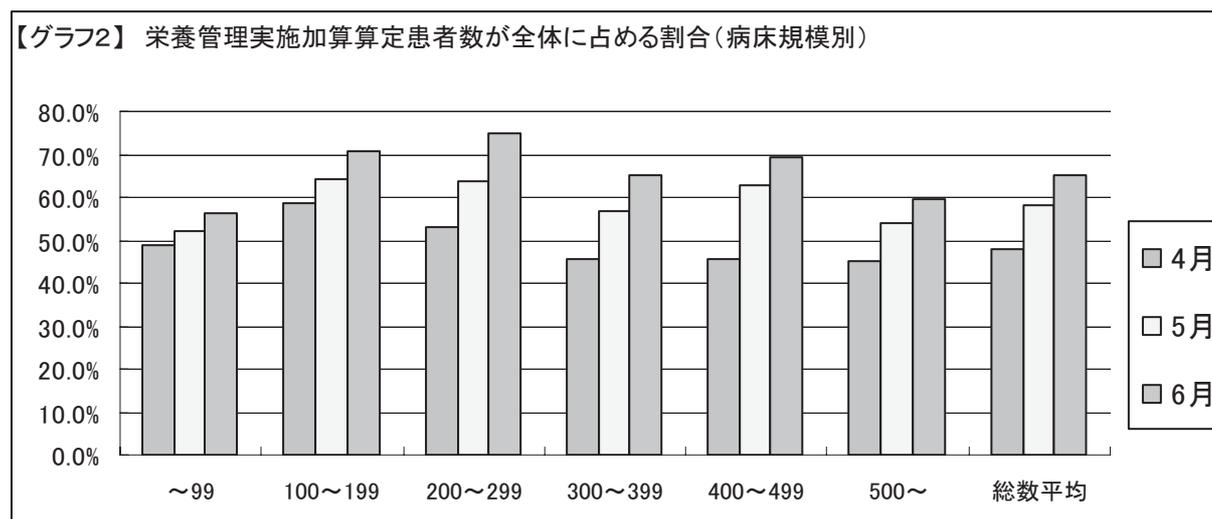
【グラフ1】 栄養管理実施加算の算定状況(病床規模別)



【表3】 栄養管理実施加算算定患者数が全体に占める割合(病床規模別)

病床規模	栄養管理実施加算を算定した患者数の割合		
	4月	5月	6月
～99	48.6%	52.1%	56.2%
100～199	58.5%	64.2%	70.9%
200～299	53.0%	63.8%	74.9%
300～399	45.7%	56.6%	65.1%
400～499	45.5%	62.7%	69.4%
500～	45.2%	54.0%	59.6%
総数平均	47.9%	58.0%	65.0%

【グラフ2】 栄養管理実施加算算定患者数が全体に占める割合(病床規模別)



<sup>1</sup> - NST (栄養支援チーム) 管理加算の新設に係る緊急調査結果報告：全自病協雑誌第45巻第2号40 (2006-2)

【表4】施設全体の管理栄養士数(病床規模別)

病床規模	管理栄養士	栄養士
～99	1.0	0.4
100～199	1.5	0.7
200～299	2.4	0.8
300～399	2.8	1.3
400～499	4.4	1.5
500～	5.3	1.4
総数平均	2.6	0.9

※委託業者の管理栄養士は除く

【表5】栄養管理計画書作成に関わっている職種と人数(病床規模別) 単位:人

病床規模	医師	看護師	薬剤師	管理栄養士	栄養士
～99	2.6	8.2	0.6	1.1	0.2
100～199	5.4	21.6	0.8	1.4	0.3
200～299	11.3	45.5	1.8	2.1	0.3
300～399	21.0	81.2	2.0	2.6	0.6
400～499	23.5	99.0	3.3	3.8	0.5
500～	34.2	141.7	2.1	4.3	0.4
総数平均	14.9	60.0	1.6	2.3	0.4

## 6. おわりに

当協議会が平成17年10月に調査したNSTは34%の病院が稼動中で検討中を含めると66.3%となり、病院でのチーム医療における栄養管理が注目されてきていた。これらの状況等を踏まえ、当協議会としても点数化を強く要望してきた結果、平成18年4月の診療報酬改正により栄養管理実施加算が新設され、今回行った調査では6月時点で74.2%の施設で算定され、算定患者数は入院患者の65%を占めていた。開始の4月から月毎に着実に割合が増加していることから、現在は算定施設、算定患者割合とももっと高率になってい

ると推測される。

この加算は臨床における栄養管理の重要性が認められたことであり今後、患者の栄養状態改善が医療の質の向上に繋がるよう内容の充実而努力していかなければならない。管理栄養士をはじめとして多職種が共同して行うことが算定要件であるが、現状の管理栄養士数では全入院患者に関わるのにはマンパワー不足は否めない。しかし病院管理栄養士として給食管理から臨床栄養管理へと業務の見直しを図ることが早急な課題であるとともに技術の向上を図り、入院患者の栄養管理を行ううえで管理栄養士の存在を明確にしていくとともに、管理栄養士の配置増も図っ

ていく必要がある。

また、多職種の関わりは今回のアンケートで全体としては多職種が関わってはいたが、職種別の関与や連携して栄養管理を行う体制づくりは今後充実を図っていかなければならない。

この栄養管理計画の実施には計画書の作成、栄養管理、再評価、退院時評価と管理栄養士はじめ多職種が時間と労力を要している。チーム医療の形づくりはされたが、今後さらなる充実、専門性の向上を図る必要があることから、栄養部会としては栄養管理実施加算の増額を要望していきたい。